

令和8年度9月補正予算案

I 規模

一 般 会 計	27億 2,318万円
特 別 会 計	19億 8,296万円
企 業 会 計	21億 9,714万円

総 額	69 億 328万円
-----	------------

※ 別に債務負担行為 49億3,686万円を設定

II 補正予算案の概要

1 一般会計補正予算案

27億2,318万円
(債務負担行為 4億1,400万円)

(1) 物価高から企業とくらしを守る

8億9,000万円

ア 中小企業コスト上昇対策支援

7億8,400万円

燃料費等のコスト上昇により経営環境が厳しい市内中小企業等に対する1事業者あたり10万円の支援金給付に要する経費。

イ 卒業・進学応援のための学校給食費免除事業

9,600万円

進学等で学用品費等の臨時的な出費が増加する市立中学校3年生(特別支援学校中学部3年生を含む)の学校給食費(令和9年1月～3月分)の保護者負担額の免除に要する経費。

ウ 食料支援を通じた生活支援

1,000万円

物価高の影響を受ける世帯に対する、地域団体や子ども食堂を通じた食料支援・生活相談の実施に要する経費。

(2) 安心して過ごせる都市・生活基盤の整備

13億9,830万円

(債務負担行為 1億2,500万円)

ア 大雨により被災した道路等の復旧

1億4,400万円

大雨により被災した鹿喰トンネル等の復旧に要する経費。

イ 安全・快適に利用できる道路環境の改善 **4億9,000万円**
自転車レーン(路面標示)・道路の区画線・舗装の更新や、歩道の植え込みの改修などにより、市民が安全に道路を利用できるよう、環境を改善するための経費。

ウ 道路、街路事業、公園整備事業等 **7億6,430万円**
国の補助内示に合わせた公共事業の事業費の調整。

エ 河川改良事業(神嶽川) **(債務負担行為 1億800万円)**
旦過地区における用地取得・補償に要する経費。

オ 若戸大橋・若戸トンネル維持管理事業 **(債務負担行為 1,700万円)**
若戸大橋・若戸トンネルの維持管理業務の委託における、労務単価上昇に伴う変更契約に要する経費。

(3) 次世代まちづくりの推進 **5,100万円**

ア まちづくり推進・投資価値向上事業 **2,000万円**
「北九州2043」の推進に向けた、民間投資の促進や市民参画の仕組みの検討等に要する経費。

イ フィジカル AI 共生都市推進事業 **3,100万円**
「北九州市フィジカルAI共生都市戦略」の実現に向けた社会実装・産業集積等を推進するための実証等を行うとともに、その基盤となるデジタルインフラと地域との共生に向けた枠組みづくりを進めるために要する経費。

(4) 地域活動・支えあいの推進 **2,400万円**

ア 部活動地域展開事業 **2,200万円**
部活動地域展開の本格実施に向けた、地域クラブの検索や問い合わせ、相談、申込みなど、情報を一体的に提供する基盤の整備に要する経費。

イ 高次脳機能障害者支援推進事業 **200万円**
県と共同で、高次脳機能障害者の自立・社会参加に向けた相談支援や人材育成等の体制整備に要する経費。

(5) その他	3億5,988万円
	(債務負担行為 2億8,900万円)

ア 市税還付金	5億1,000万円
市税の還付に要する経費を増額するもの。	

イ 障害福祉システム改修委託事業	▲ 2億1,000万円
	(債務負担行為 2億1,000万円)
障害福祉システムの国が定める標準化システムへの移行に係るスケジュールの変更に伴う事業費の調整。	

ウ 北九州メッセ施設整備事業	1,988万円
	(債務負担行為 7,900万円)
北九州メッセにおける、利用環境の改善に向けた女性用トイレの増設に要する経費。	

エ 食肉センター特別会計繰出金	4,000万円
食肉センターの老朽化した設備の修繕に伴う、食肉センター特別会計への繰出に要する経費。	

(6) 9月補正予算案の規模と財源内訳(一般会計)

9月補正予算案計上額(一般会計)	27.2億円
------------------	--------

【財源内訳】

国県支出金	12.4億円
地方債	5.9億円
その他特定財源	0.8億円
一般財源	8.1億円

〔内訳〕	・ 令和7年度決算剰余金	7.4億円
	・ 財源調整用基金	0.7億円

2 特別会計補正予算案 19億8,296万円

(1) 食肉センター特別会計	4,000万円
----------------	---------

食肉センターの老朽化した設備の修繕に要する経費。

(2) 卸売市場特別会計	1,000万円
--------------	---------

卸売市場冷蔵庫棟の整備検討に要する経費。

(3) 土地区画整理特別会計 **▲ 3億1,610万円**

国の補助内示に合わせた事業費の調整。

(4) 港湾整備特別会計 **7,612万円**

ひびきコンテナターミナルにおけるコンテナ取扱量の大幅な増加に伴う荷役機械の燃料費等を増額するもの。

(5) 介護保険特別会計 **11億7,295万円**

令和7年度決算に伴う国・県への返還及び介護給付準備基金への積立に要する経費。

(6) 市立病院機構病院事業債管理特別会計 **10億円**

厳しい経営環境に直面している独立行政法人北九州市立病院機構に対し、経営安定化に資する貸付を行うための経費。

3 企業会計補正予算案 **21億9,714万円**
(債務負担行為 45億2,286万円)

(1) 下水道事業会計 **21億9,714万円**
(債務負担行為 45億2,286万円)

下水道施設の地震対策及び改築更新によるライフラインの強靱化や、芦屋町から受託している下水道事務に要する経費。

4 繰越明許費 **3億6,000万円**

道路、街路事業などにおいて、関係者との調整等に日時を要したことなどの理由により、年度内の事業の執行ができない見込みのものについて、翌年度に繰り越すもの。

※ 表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない場合がある。